

今月の一品 令和2年8月

## 戦地から帰ってきた水筒



この水筒は、アジア・太平洋戦争が終結した3年後、松本さんという方が復員時に持ち帰った物です。金属製で軽くて丈夫なため、戦時中は兵士の命を支える道具として携行されました。

今、何気なく使われている水筒も時代とともに移り変わっていきます。厚くなる8月だからこそ、熱中症対策として水筒を持ち運びこまめな水分補給を心がけましょう。(資料 No1245)

※この展示は、令和2年度博物館実習生が企画から解説執筆まで行いました